

令和4年度補正予算 「地域の中核大学等のインキュベーション・ 産学融合拠点の整備」(民間企業向け) に係る補助事業 提案書

項目	名称等記入欄
提案者名称	
施設名	※仮称でも可。
共同提案をする 事業者名	※ある場合

【作成上の注意】

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 特段の注記がない限り、各ページについて、1ページで収まらない場合はページを追加してください。

1. 本事業の目的等

1- (1) 本事業の目的・概要・重点取組・指標 (KPI)

目的

※本スライドでは、本事業の目的や概要（施設を整備しようとする背景、利用を想定するスタートアップの事業領域・研究分野、施設の利用期間が終了した時点でのスタートアップの成長イメージ等）を記載いただくとともに、申請段階での重点取組を特定してください。

概要

※様式1. 事業概要と同じで構いません。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 2～3枚に収まるように記載してください。
- ✓ 枠のサイズは変更いただいて問題ありません。

重点取組

※利用を想定しているディープテック・スタートアップの事業領域（バイオサイエンス・ヘルスケア、半導体、化学・素材等）や導入を予定している設備等、入居・利用するディープテック・スタートアップに対して提供する予定のサービスなど、対象のインキュベーション施設の特徴を記載してください。

1. 本事業の目的等

1 - (1) 本事業の目的・概要・重点取組・指標 (KPI)

○KPI

①補助対象施設に関して

指標(KPI) ※計3つ	現状値 (あれば)	目標値	
		2024年度末	2027年度末
・ 施設の入居率(%)【必須】			
・ 施設の入居者のうちスタートアップ又は創業予定の個人の割合(%)【必須】			
・ 任意で設定するKPI ※以下のうちから1つ ✓ 施設に係る事業の成長率(施設に係る収入の毎年度の増加割合) ✓ 補助対象設備の利用率 ✓ その他独自のKPI			

②入居・利用スタートアップに関して

指標(KPI) ※計2つ	現状値 (あれば)	目標値	
		2024年度末	2027年度末
・ 施設を利用するスタートアップが利用期間に資金調達をする率(%)【必須】 ※主として未起業の個人を想定する場合は、施設の利用者の利用期間における起業率			
・ 任意で設定するKPI ✓ 施設の利用者の利用期間における平均資金調達額(利用者が起業済み(法人)である場合) ✓ 施設の利用者が成長して施設を出るまでの期間 ✓ 補助事業会社との共同研究、資本・業務提携等の連携事業数(利用者が起業済み(法人)である場合) ✓ その他独自のKPI			

1. 本事業の目的等

1 – (2) 実施体制

0 1

※事業の運営体制（事業者内のインキュベーション施設事業の担当部局・責任者、施設の管理者や運営マネージャー等の役割分担、運営に携わる人員数、他の事業者との連携体制等）、共同提案事業者（ある場合）との連携体制、事業者としての財務的健全性等について、図や表も用いて記載してください。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

1－（3）実施方法等

①ディープテック・スタートアップによる技術シーズの事業化を促進させる取組に係る事項

- ✓ 3つの審査項目ごとに、要点を記入してください。
- ✓ 各項目について「必須項目」に係る記載をそれぞれ必ず盛り込んでください。
- ✓ 「必須項目」、「加点項目」とともに、詳細やエビデンスその他の等は補足資料で記載又は添付下さい。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

1－（3）実施方法等

②補助対象施設に係る施設・設備の適切な維持・管理体制と持続可能な経営の実現に向けた取組に係る事項

- ✓ 3つの審査項目ごとに、要点を記入してください。
- ✓ 各項目について「必須項目」に係る記載をそれぞれ必ず盛り込んでください。
- ✓ 「必須項目」、「加点項目」とともに、詳細やエビデンスその他の等は補足資料で記載又は添付下さい。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

1- (3) 実施方法等

③ インキュベーション施設を整備する必要性・妥当性に係る事項

- ✓ 3つの審査項目ごとに、要点を記入してください。
- ✓ 各項目について「必須項目」に係る記載をそれぞれ必ず盛り込んでください。
- ✓ 「必須項目」、「加点項目」とともに、詳細やエビデンスその他の等は補足資料で記載又は添付下さい。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

1 - (3) 実施方法等

④その他

- ✓ 提案者がスタートアップ（定義については公募要領7ページ目をご覧ください。）に該当する場合、このスライドを作成してください。
- ✓ 自社のスタートアップとしての経験・観点を踏まえ、どのように施設を運営していくお考えか簡潔に記載してください。

- ✓ 1～2枚に収まるよう記載してください。
- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

1 - (4) 実施スケジュール・ロードマップ^o

項目	R5.3		R6.3
		✓ 必要事項が記載されていればこのフォーマット使用せず、自由に記載いただいて構いません。 ✓ 「項目」の欄には、施設の整備、設備等の導入、各種ビジネスサポートの提供、施設の運営体制その他の本事業による補助を想定しているインキュベーション施設に係る各種の活動内容を項目として記入し、それぞれに紐づくスケジュール・ロードマップを右の列に記載ください。	

2. 自社のこれまでの運営実績・インキュベーション施設運営事業者としての強み^{0.1}

※インキュベーション施設に係る御社のこれまでの運営実績の概要や、インキュベーション施設運営事業者として特に強調したい強みを記載ください。

※既存の事業がある場合は、当該事業と本事業で取り組む事項の関係性や違いを簡潔に記載ください。

- ✓ フォントサイズ14以上で記載してください。
- ✓ 参考資料がある場合は別資料として添付下さい。

3. 施設概要

(実施場所) ※所在地の敷地における位置・形状・地形のわかる地図（付近見取図、配置図）

(敷地面積) ○,○○○ m²

(敷地の所有関係) ※自社の所有か、借地の場合には所有者名と契約内容

(延床面積) ○,○○○ m²

※既存施設の改修の場合、施設の全体か一部かの別、一部の場合には全体の所有者と対象とする部分の権利関係について記載

(入居キャパシティ) ○○ 室（部屋数）
○○ 社（社数）
○○ 名（人数）

※申請日時点での、施設として有するラボ等の部屋数、入居可能な者数、入居可能な総人数を記載ください。

3. 施設概要

(平面図・立面図) ※縮尺1/200程度で、事業内容が分かる実施図面として、機能や配置など、面積や事業費の算定の根拠となる図面を添付

※全体像が分かるように縮尺は自由に設定し、縮尺の記入もお願いします。

✓ 5枚に収まるように記載してください。

4. 事業経費

収入：(自己資金)資金調達計画

(千円)

拠出主体・方法		予算額	使途の拘束要件等
自社予算		111,111	
融資		111,111	
外部資金	出 資		
	寄 付		
	他		
自己資金総額			

- ✓ 外部資金については、拠出主体と方法等について記載してください。
- ✓ 他の補助金については外部資金の「他」の欄に補助金名称と支給元行政機関の名称を記載してください。また、当該補助金の補助対象を「使途の拘束要件等」の欄に記載してください。

4. 事業経費

支出：本事業積算内訳

(千円)

経費区分及び内訳	本事業に要する経費 (総事業費)	補助対象経費	補助金申請額
● 研究開発設備等費 ・ 設備費 ・ (設備の)導入費 ・ (設備の)運用費 ・ その他の費用(※費目を明記してください。)			
合計(補助金見込額)			

- ✓ 内訳も記載してください。
- ✓ 公募申請時点での見込みを記載ください。(採択後、見積もり金額等を鑑み、経済産業省と調整した上で決定することとなります。)
- ✓ 導入費及び運用費に含まれる費用については、別途Q&A集を御覧ください。